

グローバルコミュニケーション開発推進協議会

～2020年に向けた多言語音声翻訳技術の社会実装の推進～

「グローバルコミュニケーション計画」の推進（多言語音声翻訳システムの普及促進）

- （独）情報通信研究機構が開発した多言語音声翻訳技術は、日、英、中、韓の4言語間の比較的短い旅行会話の翻訳を精度よく実現しており、スマートフォンアプリなどで利用が拡大しつつある。
- 総務省は本年4月、世界の「言葉の壁」をなくすため、同技術の対応領域、対応言語を拡大し、翻訳精度を高める研究開発を推進するとともに、産学官連携により、病院、商業施設、観光地等において多様なアプリケーションの社会実証を実施し、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会までに社会実装することを目指す「グローバルコミュニケーション計画」を発表。

多言語音声翻訳システムの概要

音声翻訳技術の仕組み



技術移転による市場展開

- ・民間への技術移転により多様なスマートフォンアプリが展開



「VoiceTra4U」の概要



- ・スマートフォン向けアプリとして無料で提供中
- ・iOS、アンドロイドに対応

VoiceTra4Uの機能

- ・27言語間の翻訳、17言語の音声入力、14言語の音声出力が可能
- ・5台（5言語）までの音声チャットも利用可能

社会実証のイメージ

- 病院、商業施設、観光地等において、大規模な社会実証を実施

病院

多言語対応ヘッドセット等のウェアラブル機器を用い、症状や病名の翻訳など 医師と患者のコミュニケーションを支援



ショッピング

多言語対応型レジ端末により、商品の購入や問合せなど、外国人客の要望にきめ細やかに対応



観光

観光スポットの案内板にスマートフォンをかざせば各国語で観光案内が表示される



多言語音声翻訳システムの活用事例

成田国際空港

- ❑ ターミナル館内の巡回案内スタッフが「iPad」を活用して、最新のフライト情報や忘れ物の情報等の他、空港内の店舗、サービス施設等を写真や地図を用いて案内。
- ❑ さらに、多言語音声翻訳アプリ「NariTra」を活用し、巡回案内スタッフが、中国や韓国からの来客にも母国語で案内を行っている。

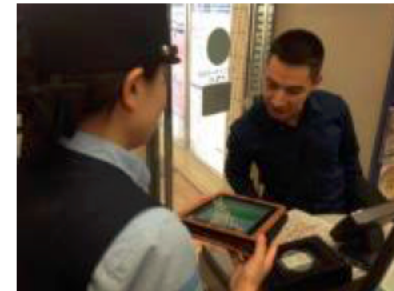


成田国際空港のホームページでアプリを紹介
Google PlayやApp storeでダウンロード可能

【出典】成田国際空港ホームページ

京浜急行電鉄

- ❑ 本年3月の羽田空港国際線発着枠の拡大等に伴い、7月から品川駅と羽田空港国際線ターミナル駅に「VoiceTra4U」を試験導入。
- ❑ 主に改札や忘れ物センターで片言での対応が困難な場合、羽田空港国際線ターミナル駅、京急ツーリストインフォメーションセンターで英・中・韓以外の対応が必要となった場合等においてVoiceTra4Uを活用している。



品川駅(改札)



羽田空港国際線ターミナル駅(改札、京急ツーリストインフォメーションセンター)

【出典】京浜急行電鉄より提供

グローバルコミュニケーション開発推進協議会について(予定)

1 目的

独立行政法人情報通信研究機構(NICT)を中心に産学官の力を結集して、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会を見据え、多言語音声翻訳技術の精度を高めるとともに、その成果を様々なアプリケーションに適用して社会実装していくために必要な活動を行い、世界の「言葉の壁」をなくしグローバルで自由な交流を実現する「グローバルコミュニケーション計画」を推進することを目的とする。

2 概要

(1) 主な活動内容

- ・多言語音声翻訳技術の研究開発の推進方策の検討
- ・多言語翻訳システムの実用化促進方策の検討
- ・産学官連携の促進
- ・周知・広報活動の推進

(2) 協議会の構成

NICTの多言語音声翻訳技術を中心に実現する「グローバルコミュニケーション計画」の推進に協力する意思を有することを要件とする。

情報通信事業者、通信機器メーカー、医療機関、公共交通機関、流通業者、旅行代理店、自治体 ほか

(3) 活動体制

次ページのとおり

(4) 事務局

(独)情報通信研究機構

3 当面の予定

11月20日
11月20日～12月10日
12月17日

設立発起人会
会員募集
第1回総会

設立発起人

東京大学大学院 情報学環長・学際情報学府長
須藤 修 教授

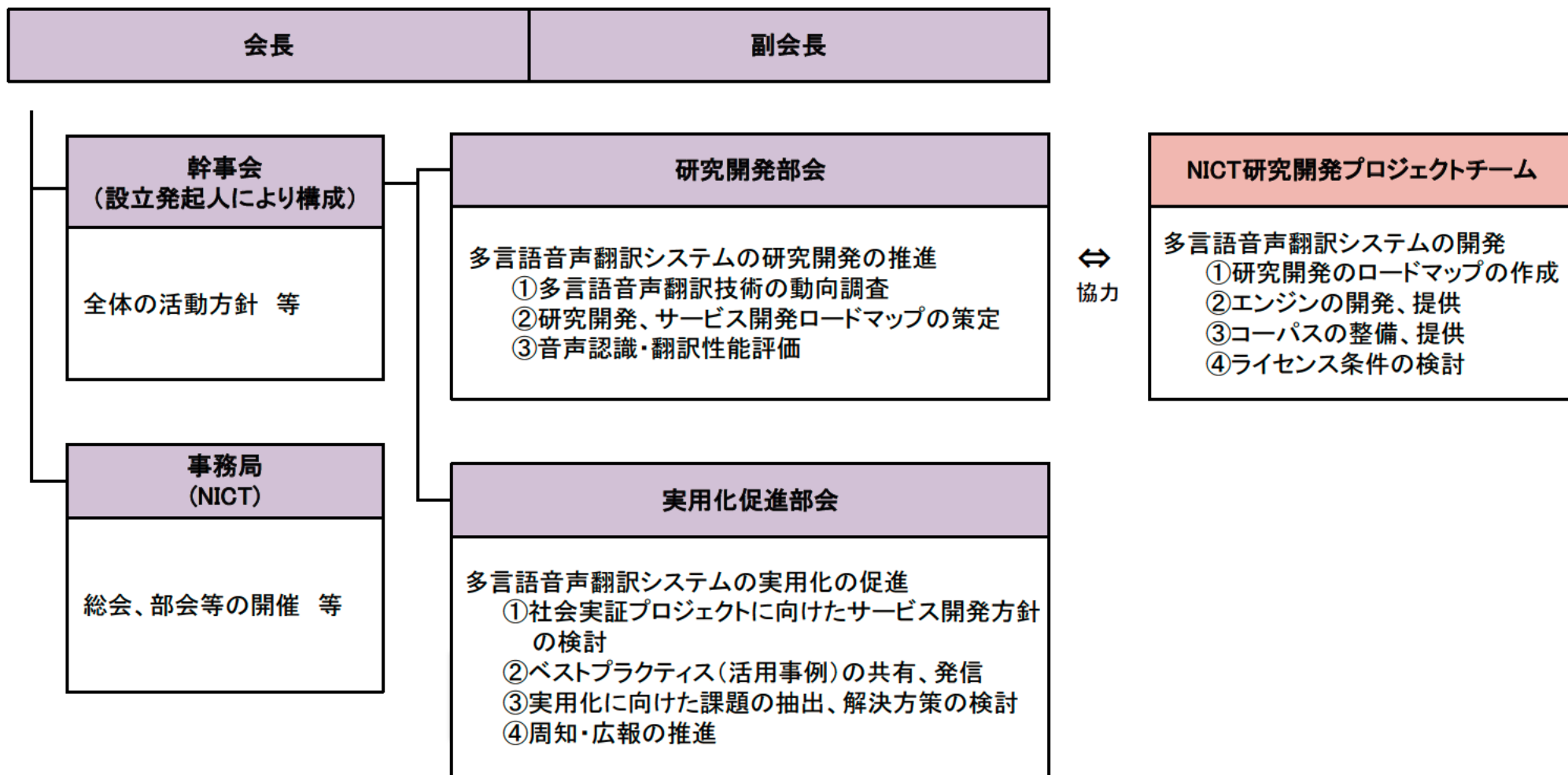
奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
中村 哲 教授

ATR-Trek
NHK放送技術研究所
NTT
KDDI
ソニー

東芝
日本電気
パナソニック
富士通
日立製作所

凸版印刷
フィート
情報通信研究機構

「グローバルコミュニケーション開発推進協議会」の体制



(各部会の下に適宜ワーキンググループを設置)

グローバルコミュニケーション開発推進協議会想定スケジュール

2014年度

2015年度

2016 ～ 2020年度

NICT体制強化

9月

NICTに先進的音声翻訳
研究開発推進センター
(ASTREC)設立

グローバルコミュニケーション開発推進協議会

▲ 11月20日 グローバルコミュニケーション
開発推進協議会発起人会

▲ 12月17日 第1回総会 ▲ 第2回総会 ▲ 第3回

△ シンポジウム △ シンポジウム △ シンポジウム

研究開発部会(研究開発ロードマップ、翻訳システムの評価方法等の検討)

実用化促進部会(2020年までの社会実装に向けた検討)

オリンピック・パラリンピック東京大会